

ご案内

令和6年度日本歯科大学歯学会大会

令和6年度日本歯科大学歯学会大会を下記の要領にて開催いたします。
皆様の多数のご参加とご発表をお待ち申し上げます。

令和6年度日本歯科大学歯学会大会
大会長 影山 幾男

日本歯科大学新潟生命歯学部解剖学第1講座 教授

日時：令和6年6月2日（日）11時～16時30分（予定）

場所：日本歯科大学生命歯学部本館8階 富士見ホール・展示ホール

メインテーマ：歯科学の原点回帰

11：00－11：05 開 会（影山幾男大会長）

11：05－11：25 学術奨励賞受賞講演

宮野 侑子 先生



日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第2講座 助教

受賞論文 Effects of Sr^{2+} , BO_3^{3-} , and SiO_3^{2-} on Differentiation of
Human Dental Pulp Stem Cells into Odontoblast-Like Cells

11：30－12：30 特別講演1（日歯生涯研修該当）

『口腔癌治療の現状と新たな治療戦略の検討』

佐久間 要 先生

日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座 准教授

12：30－13：30 休 憩

13：30－14：30 総 会

14：35－15：35 特別講演2（日歯生涯研修該当）

『不随意運動を示すマウスの原因を遺伝子・細胞・神経回路レベルで理解する』

竹林 浩秀 先生

京都大学大学院附属総合解剖センター 教授

新潟大学大学院医歯学総合研究科脳機能形態学 教授

15：35－16：30 ポスター発表（展示ホール）

16：30 閉 会（影山幾男大会長）

演題募集要領

1. 一般事項

後掲の「演題抄録作成例」を参考に、演題名、発表者名、所属、連絡先を記入し、下記の準備委員会事務局・事務担当宛にメールでご提出下さい。

2. 発表形式

ポスター形式

自由討論として55分を予定しております。

ポスターの展示スペースは、縦160cm×横90cmを予定しております。

*発表要領の詳細は各演者の先生に別途、ご連絡申し上げます。

3. 抄録記載要領

1) 和文演題名、発表者氏名（代表発表者に下線）、所属

（演題名、発表者氏名（代表者に下線）、所属について、英語で併記）

2) 和文800字以内の発表内容の要旨

【目的】、【方法】、【結果】、【結論】を記載してください。

<症例報告等は適宜、変更してください。>

3) 連絡先

※word文書、余白は標準、行間は1.0で作成してください。

和文はMS明朝、10.5ポイント、英文はTimes New Roman、10.5ポイント

4. 申し込み方法

e-mailでtoriumi@ngt.ndu.ac.jpまでwordファイルを添付してお申し込みください。

なお、3日後までに受領の返信がない場合には再度ご連絡下さい。

5. 演題募集締切日

令和6年5月10日（金）17時

学部、短期大学、講座、診療科、大学院生、
学部・短期大学学生の方も、ぜひ奮って
ご応募ください。

6. お申込み先・お問い合わせ

日本歯科大学新潟生命歯学部解剖学第1講座

令和6年度日本歯科大学歯学会大会 準備委員会事務局

事務担当：鳥海 拓

E-mail: toriumi@ngt.ndu.ac.jp

TEL: 025-267-1500（内線2578）

演題抄録 作成例

無機ポリリン酸が細胞の石灰化に及ぼす影響

鳥海拓¹, ○○○○², △△△△³, 影山幾男¹

¹ 日本歯科大学新潟生命歯学部解剖学第 1 講座

² 新潟大学医学部○○分野

³ 日本大学歯学部△△講座

Effects of inorganic polyphosphate treatment on the cell mineralization

Taku Toriumi¹, ○○○○², △△△△³, Ikuo Kageyama¹

¹ Department of Anatomy, The Nippon Dental University School of Life Dentistry at Niigata

² Division of○○○○, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences

³ Department of △△△△, Nihon University School of Dentistry

【目的】 無機ポリリン酸 [Poly(P)] はオルトリン酸塩が直鎖状に結合した線状ポリマーで、
様々な細胞で存在が確認されている。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・。
・・。

【方法】 細胞は ROS17/2.8 (ラット骨芽細胞様)、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・・
・・。

【結果】 APL 発現細胞株に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・・
・・。

【結論】 高濃度の Poly(P) の作用は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。。

連絡先：鳥海拓（代表発表者の氏名を記入）
日本歯科大学新潟生命歯学部解剖学第 1 講座（所属を記入）
toriumi@ngt.ndu.ac.jp（メールアドレスを記入）

※実際に A4・1 頁に収める必要はありません。